

# 本市の生涯学習施策の推進について

さいたま市教育委員会

- 3ページ ■はじめに
- 4ページ ■生涯学習施策の推進に関する国の動向
- 5ページ ■生涯学習施策の推進に関する本市の動向
- 6ページ ■現行計画の検証
- 7ページ ■なぜ今、新しい生涯学習推進ビジョンが必要であるのか
- 8ページ ■生涯学習推進検討会議の設置
- 9ページ ■生涯学習推進ビジョン策定に向けた検討体制
- 10ページ ■さいたま市生涯学習推進ビジョン案（基本的な考え）
- 11ページ ■さいたま市生涯学習推進ビジョン案（基本理念・ポイント）
- 12ページ ■生涯学習推進検討会議の流れ

## ■生涯学習の理念 【平成18年12月施行 教育基本法 第3条】

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

## 生涯学習とは

- 「生涯学習」という概念は、家庭教育、学校教育、社会教育をすべて含むもので、一般には、人々が生涯に行うあらゆる学習を総称するものです。
- 生涯学習の分野には、学校教育や社会教育の中で組織的に行われるものだけに限らず、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、ボランティア、趣味など、様々な分野が含まれます。
- 学習形態も、本を読んだり通信教育を受けたりする個人学習、学校での学習、公民館・図書館などの公共施設が行う講座の受講、民間のカルチャースクールやスポーツクラブでの学習、企業内教育、サークル活動など、様々な形態で行われています。

### ☆分野☆

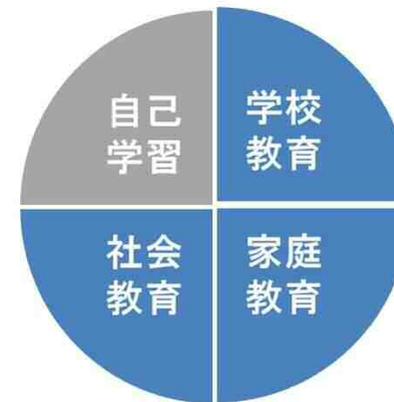


- 文化・芸術
- ボランティア
- 趣味  
スポーツ・レクリ  
エーション

### ★学習形態★



- 講座受講
- サークル活動
- カルチャースクール
- 企業内教育



## 生涯学習施策の推進に関する国の動向

### 平成30年6月 人生100年時代構想会議（座長：内閣総理大臣）

我が国は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えており、今後の更なる健康寿命の延伸も期待される。

こうした人生100年時代には、高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要があり、その重要な鍵を握るのが「人づくり革命」、人材への投資である。

### 平成30年6月 第3期教育振興基本計画（閣議決定）

2030年以降の社会像の展望を踏まえた個人と社会の目指すべき姿と教育の役割として、

- ・個人→「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくこと」が重要である。
- ・社会→「一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現」と「長期的な見通しを持って、社会（地域・国・世界）の持続的な成長・発展」を目指していくことが重要である。

### 平成30年12月 中央教育審議会答申（座長：第9期中央教育審議会会長）

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」

- ・今後の我が国にとって「『社会教育』を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」が一層重要である。
- ・地域における新時代の社会教育の方向性として「開かれ、つながる社会教育」を提示した。
- ・社会教育活動の出発点となるのは、「個々人の学びの意欲」と「学びの場への主体的な参画」である。
- ・首長部局、学校、NPO、企業等の多様な主体が、これまで以上に連携・協働することが必要である。
- ・世代を超えた学びを通じて、心を開き、つながりを深め、地域の課題に向き合いつつ地域独自の強みや特色を生かした、多彩で創造的な取組を進めることが、個人の豊かな生活の実現と、元気で明るい多様な地域社会の共創につながる。

# 生涯学習施策の推進に関する本市の動向

## 平成31年4月～ 第2期さいたま市教育振興基本計画

さいたま市の教育が目指す人間像 「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」  
 基本理念 「人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進  
 基本的方向性3 「人生100年時代を輝き続ける力の育成」  
 基本的方向性4 「スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」

## 令和元年9月 さいたま市社会教育委員会議答申

～新たな時代の生涯学習環境の整備に向けて～  
 方向性1 いつでも、どこでも、何度でも学べる環境づくり  
 方向性2 学習意欲を引き出す学びのきっかけづくり  
 方向性3 「学び」と「活動」が循環する環境づくり

## 令和2年1月 「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクト

方向性4 人生100年時代を見据えた教育環境整備  
 ・人生100年時代を輝き続ける力を育成する生涯学習の推進 (ソフト面) → **生涯学習推進ビジョン策定へ**  
 ・市の魅力アップにつながる生涯学習関連施設の整備 (ハード面)

## 令和2年1月 次期総合振興計画(案)の検討

第4章教育 第1節 人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進  
 施策3 「人生100年時代を輝き続ける力の育成」

成果指標	「学習機会を得ている」と感じる市民の割合	令和元年度実績 50.5%	令和12年度目標 55.0%
	「学習の成果を地域活動やボランティアなどで社会に還元している」と答えた市民の割合	令和元年度実績 27.2%	令和12年度目標 30.0%

施策4 「スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」

成果指標	「地域の学校は、地域から信頼されている」と思う市民の割合	令和元年度実績 72.1%	令和12年度目標 80.0%
	「地域の人たちは、自分たちを見守り、支えてくれている」と思う児童生徒の割合	令和元年度実績 93.5%(小6)・83.8%(中3)	令和12年度目標 94%以上(小6)・84%以上(中3)

## 現行計画の検証

現行計画：第2次さいたま市生涯学習推進計画（平成26年度～令和2年度）

### 関連事業調査 (毎年度実施)

	H27調査	H28調査	H29調査	H30調査
基本方針	達成度（「達成された」「ほぼ達成された」の合計）			
全体	94%	91%	92%	93%
学べる	95%	92%	89%	94%
活かせる	90%	90%	95%	95%
つながる	93%	90%	96%	93%

### 市民意識調査 (H30年度実施)

基本方針	<目標>	H24 調査結果	6年間	H30 調査結果
学べる	生涯学習を行っている人を増やします。 ◆1年間に生涯学習を行った人の割合	67.0%	→	65.9%
活かせる	生涯学習を通じて身につけた知識や技能を活かしている人を増やします。 ◆生涯学習を通じて身につけた知識や技能を活かしている人の割合	80.5%	→	79.3%
つながる	生涯学習を通じて地域や社会とつながっている人を増やします。 ◆生涯学習を通じて身につけた知識や技能の活かし方について ・ボランティアなど地域活動に活かしている人の割合 ・他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている人の割合	6.6% 3.5%	→	6.6% 3.7%

行政による各種事業の達成度が高かったにもかかわらず、それが生涯学習に対する**市民の意識の向上**や、**人や地域とつながる**という**具体的な行動に結びつかない**という現状が浮き彫りになった。

## なぜ今、新しい生涯学習推進ビジョンが必要であるのか

### 社会の 変化

- ・技術革新やグローバル化の急速な進展
- ・長寿化に伴う「人生100年時代」の到来
- ・少子高齢化による労働力人口の減少
- ・社会の持続的な成長・発展に向けた国際的な政策動向（SDGs）など

### コロナ 禍

- ・想定外の連続の中、困難に対応して生き抜いていくことが人類共通の課題
- ・新たな生活様式のもと、ICTを活用した新たな学び方の試行、導入、実践
- ・人と人とのつながりや地域コミュニティの大切さ、価値の再認識
- ・未曾有の危機に立ち向かい、克服するためには、行政だけでは到底不可能など

人生100年時代、幾度となく発生する可能性のある危機に向き合いながら、「**生涯を通して学び続けることが生きる原動力になる**」という普遍的な視点を持つことが重要である。

本市の生涯学習の理念を示すビジョンを新たに掲げ、生涯学習の新しい姿を市民と共有しながら、**オールさいたま市**で生涯学習施策を推進していく必要があるのではないか。

## 生涯学習推進検討会議の設置

(設置)

第1条 さいたま市における生涯学習行政を総合的かつ計画的に推進するため、さいたま市生涯学習推進検討会議を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、次の各号に掲げる事項を協議し、検討を行うものとする。

- (1) 生涯学習推進ビジョン案の作成に関すること。
- (2) 生涯学習施策の推進に係る関係部局との協議及び調整に関すること。
- (3) その他生涯学習の推進に必要な事項に関すること。

委員（教育委員会事務局） 7名

教育委員会事務局生涯学習部長（議長）  
教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課長（副議長）  
教育委員会事務局管理部教育政策室長  
教育委員会事務局学校教育部指導1課長  
教育委員会事務局学校教育部教育研究所長  
教育委員会事務局生涯学習総合センター副館長  
教育委員会事務局中央図書館資料サービス課長

委員（市長部局） 17名

市長公室広報課長  
都市戦略本部行財政改革推進部副参事  
都市戦略本部情報政策部参事  
市民局市民生活部コミュニティ推進課長  
市民局市民生活部人権政策・男女共同参画課長  
市民局市民生活部市民協働推進課長  
スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課長  
スポーツ文化局文化部文化振興課長  
保健福祉局保健部健康増進課長  
保健福祉局福祉部障害支援課長  
保健福祉局長寿応援部高齢福祉課長  
保健福祉局長寿応援部いきいき長寿推進課長  
子ども未来局子ども育成部子育て支援政策課長  
子ども未来局子ども育成部青少年育成課長  
環境局環境共生部環境創造政策課長  
経済局商工観光部労働政策課長  
経済局商工観光部観光国際課長

## 第10期社会教育委員会議

(任期：令和元年10月1日～令和3年9月30日)

＜社会教育に関し、専門的見地から教育委員会へ助言を行う＞

素案提示

助言

### 生涯学習推進検討会議

＜生涯学習行政を総合的かつ計画的に推進＞

- ・生涯学習部長（議長）
- ・生涯学習振興課長（副議長）
- ・生涯学習推進に係る関係課の所属長

### 生涯学習推進部会

＜ワーキング・グループ＞

- ・有識者（非常勤特別職）
- ・生涯学習部担当者

連携

様々な方に御意見・御助言をいただき検討を重ね、「教育政策推進戦略会議」で進捗を報告し、教育長決裁によって、令和2年度中に生涯学習推進ビジョンを策定します。

## さいたま市生涯学習推進ビジョン案（基本的な考え）

### 概要

豊かで安心して暮らせる社会の実現に向け、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の観点により、本市の生涯学習の理念を市民に分かりやすく示す指針として、新しい時代を豊かに学ぶための生涯学習を推進するビジョンを策定するもの。

### 基本的な考え

- I いつでも、どこでも、何度でも学べる環境づくり
- II 学習意欲を引き出す学びのきっかけづくり
- III 「学び」と「活動」が循環する環境づくり

## さいたま市生涯学習推進ビジョン案（基本理念・ポイント）

### 概要

豊かで安心して暮らせる社会の実現に向け、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の観点により、本市の生涯学習の理念を市民に分かりやすく示す指針として、新しい時代を豊かに学ぶための生涯学習を推進するビジョンを策定するもの。

### ビジョンの基本理念 (案)

**わくわく 元気で 夢を持ち 新しい時代を学び抜く**

### ビジョンの基本方針 (案)

- I いつでも、どこでも、何度でも学べる環境づくり（人づくり）  
～ 市民一人ひとりの**成長ストーリー**を支える生涯学習の推進～
- II 学習意欲を引き出す学びのきっかけづくり（つながりづくり）  
～ 多種多様な生涯学習関連施設による**学びのサポート**～
- III 「学び」と「活動」が循環する環境づくり（地域づくり）  
～ **SDGsの実現**を目指した持続可能な共生社会の構築へ～

### 策定に向けた ポイント

- ・ **新型コロナウイルス**に立ち向かう中で、想定外やジレンマを乗り越えることが必要となっている今、生涯学んでいくことが**人間の生きる力**を高め、**夢**をはぐくみ、幸せに**人生100年時代**を**生き抜く**ことにつながることを宣言するビジョンとしたい。
- ・ Society5.0の実現に向けたA I等の技術革新やグローバル化の急速に進む中、持続可能な開発目標であるSDGsと関連付けて、**世界と向き合う**ビジョンとしたい。

ポストコロナ時代における生涯学習の重要性を訴える

## 生涯学習推進検討会議の流れ

本日現在

7月29日

第1回生涯学習推進検討会議

- ・生涯学習推進ビジョンについて（概要・基本的な方針案、スケジュール等）



8月～10月

生涯学習推進ビジョン骨子等の検討（予定）

- ・生涯学習推進検討会議委員への意見聴取を予定。



11月～2月

生涯学習推進ビジョン全体像・素案等の検討（予定）

- ・生涯学習推進検討会議委員への意見聴取を予定。



3月上旬～中旬

第2回生涯学習推進検討会議（予定）

- ・生涯学習推進ビジョンについて（成案の報告）